

pL^AT_EX ニュース 第 c11 号

2018 年 07 月 発行

作成者：日本語 T_EX 開発コミュニティ (<https://texjp.org/>)

この文書はコミュニティ版 pL^AT_EX 2_ε <2018-07-28> について、pL^AT_EX 2_ε <2018-05-20> からの更新箇所をまとめたものです。

1 標準クラスの \today を西暦に

pL^AT_EX 付属の標準クラス (jarticle, jbook, jreport, tarticle, tbook, treport) では、これまで \today 命令で表示される日付のデフォルトを

平成 30 年 7 月 28 日

のように元号としていました。しかし、平成 31 年 (2019 年) に改元が予定されていることを機に、今回のリリースからデフォルトを

2018 年 7 月 28 日

のような西暦に変更しました。upL^AT_EX 付属のクラスも同様に変更しています。

2 シリーズ b も太字に

L^AT_EX 標準では、太字 (\bfseries, \textbf) を指定すると **bold extended** (bx) に切り替わります。

一方、tgtermes, iwona などの欧文フォントパッケージを使うと、太字が **bold** (b) に変わります。

従来の (u)pL^AT_EX では、和文の太字をシリーズ bx だけに割り当て、b には何も設定していませんでした。そのため、後者の場合に

```
LaTeX Font Warning: Font shape 'JY1/mc/b/n' undefined
(Font)                using 'JY1/mc/m/n' instead on ...
```

のような警告が出て「和文が太字にならない」という挙動でした。今回からシリーズ b にも和文の太字を割り当て、太字になるようにしました。

3 アクセント文字の再修正

pL^AT_EX 2_ε 2016/04/17 から 2016/07/01 にかけて、「ベースライン補正量がゼロでない場合にアクセント合成文字が乱れる」というバグを修正しようと試みていました。この時はトラブルが相次いだため、一旦全てのパッチを撤去したのですが (参考: plnewsc03.tex)、今回別の方法で再度パッチを導入しました。

- デフォルトでは修正パッチは無効です。
- \fixcompositeaccent 命令【新設】
この命令を発行すると、それ以降で pL^AT_EX 用修正パッチが有効化されます。グループ内で発行された場合は、そのグループ内でのみ修正パッチが有効です。
- \nofixcompositeaccent 命令【新設】
\fixcompositeaccent の効果を打ち消し、元の L^AT_EX の定義に戻します。

\fixcompositeaccent 命令を発行すると、「ベースライン補正量がゼロでない場合のアクセントの高さ」「周囲の和文文字との間に自動挿入される \xkanjiskip」などの挙動がほぼ期待通りになりますが、一部 L^AT_EX とは異なる挙動 (警告・エラー) になる場合があります。必要に応じて \fixcompositeaccent を有効化・無効化することで対処してください。

4 開発版のテストのお願い

バグ報告やご意見、開発版の入手は GitHub へ。

- <https://github.com/texjporg/platex>
- <https://github.com/texjporg/uplatex>